

# 第44回 石狩さけまつり

～ようこそ歴史、文化、そして『サケ』のまちへ～

日時 9月22日(土)・23日(日) 9:00～17:30

場所 弁天歴史通り一帯

■アクセス 札幌ターミナル発の中央バス「石狩行き(石狩線)」に乗車して、「石狩温泉前」下車

■駐車場 石狩浜海水浴場駐車場をご利用ください(無料)

問合せ (社)石狩観光協会 ☎62-4611 ☎62-4624

✉unjouya@muse.ocn.ne.jp 🌐http://www.ishikari-kankou.net

プログラム ※内容変更の場合あり

9月22日(土)

- ・石狩産朝捕りサケの即売会
- ・千人鍋【石狩鍋】格安提供
- ・歴史と文化のスタンプラリー
- ・歌謡ショー(かやまあきおほか)
- ・Let's ライブ

9月23日(日)

- ・石狩産朝捕りサケの即売会
- ・石狩人芸能大会
- ・歴史と文化のスタンプラリー
- ・YOSAKOIソーラン、神輿練り込み

## 北海道遺産「石狩川」のヘリフライト

北海道遺産の石狩川を上空から見るができます。

フライト時間 5分(乗降を含む)

料金 大人3,900円、子ども3,000円

運航時間 9:00～12:00、13:00～17:00

※天候により中止する場合があります

圃朝日航洋(株) ☎011-782-0603

両日開催

## サケのつかみ取り

特設プールで、豪快につかみましよう!

場所 弁天歴史通り特設会場

※参加は抽選となります。サケのつかみ取り抽選カードの販売時間は、新聞折込チラシや会場内の看板をご覧ください

ほかにも!!

毎年恒例「カンカンまつり」や、石狩川とサケに関連したイベントなど開催予定。

## 第33回 厚田ふるさとあきあじ祭り

日時 9月23日(日) 9:00～15:00

場所 望来コミセン(みなくる)

問合せ 実行委員会事務局(石狩北商工会)

☎78-2513 ☎78-2660

プログラム

アキアジの重さ当て(先着200人、参加料1人300円)、ジャンケン大会、宝引き(先着200人、参加料1人300円)、くじ付きもちまき、特産物の販売、郷土芸能ほか

※内容変更の場合あり



アキアジの重さ当て

## 第25回 浜益ふるさと祭り

日時 9月16日(日) 9:00～15:30

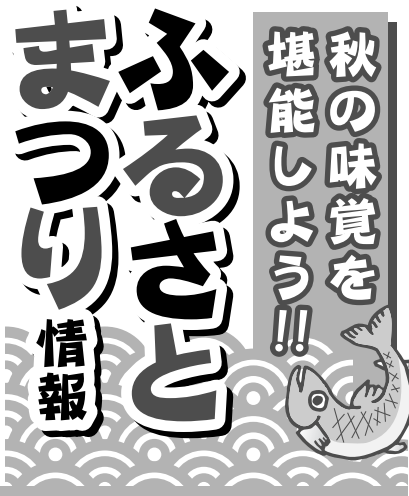
場所 川下海浜施設イベント会場

問合せ (社)石狩観光協会浜益事務所

☎79-5700 ☎79-5701

プログラム

サケをはじめ浜益自慢の農水畜産物が一堂に集合し即売されます。小学生による昔のニシン漁を再現した「沖揚げ音頭」、自衛隊音楽隊による演奏会、ビンゴ大会、プレゼント付きもちまきほかのイベントも開催。 ※内容変更の場合あり



秋の味覚を堪能しよう!!



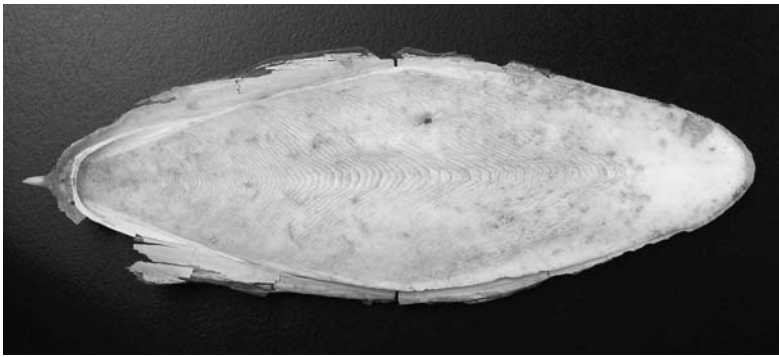
## イカのカイ

秋の浜辺で、イカの貝を拾いました。

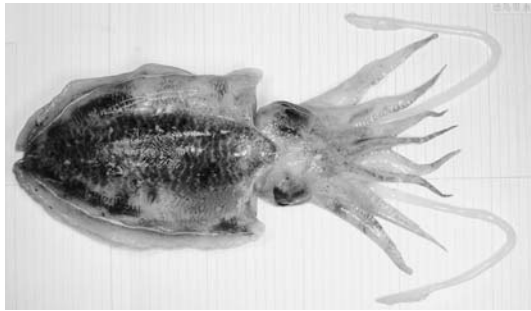
長さ10〜20cm。まるで小さな白いサーフボード。そんなものを見付けたことはありませんか？

プラスチックか何かでできているようにも見えますが、人工物ではありません。実はこれ、イカの仲間、コウイカ類の「貝殻」なのです。

貝殻といっても体の外側を覆っているわけではありません。コウイカの体内にある骨



コウイカの体内にある甲。貝殻の名残です。



コウイカ (提供:徳島県水産研究所 上田幸男さん)

のようなもので、「甲」と呼びます。スルメイカなどの体内にある透明なプラスチックみたいなもの、あれと同じです。

「貝」というと、普通は二枚貝や巻貝などをイメージしますが、生物学的には「軟体動物門」という、動物界の中のもとも大きなグループを指します。タコやイカも軟体動物なので、貝の仲間なのです。大昔、アンモナイトのような、彼らの先祖が持っていた貝殻の名残が、このコウイカの甲です。

同じように貝殻を持つタコ・イカの仲間には、オウムガイ、アオイガイ(カイダコ)などがあります(アオイガイの殻はメスが卵を保護する容器で、ほかの貝殻とは起源が違います)。

コウイカの仲間は日本近海で22種が知られていますが、いずれも温・熱帯の海に生息する暖流系の種で、生体は石狩周辺ではほとんど見られません。

コウイカの甲は、普通の貝殻と同じ石灰質でできていますが、

スポンジ状でとても軽く、水に浮きます。死んで肉が腐ったり、魚に食べられたりした残りなどが海面を漂い、石狩まで流れてくるのでしょうか。浜辺に漂着していた甲の中には、長い間海を漂ってきたためにフジツボがたくさん付着しているものや、イルカにかじられたのか、歯形の付いたものもあります。

秋に数多くの漂着が見られるのは、やはり暖流系のアオイガイと同じです。日本海を北上する海流、対馬暖流に乗って流れてきたところを、冬が近づいて吹き始めた北西季節風によって吹き寄せられる、というメカニズムのようです。

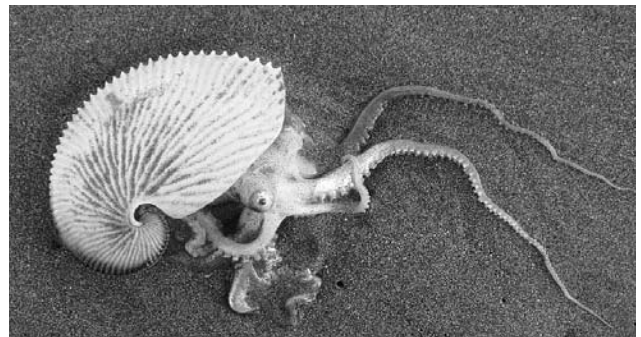
これまでに採集した漂着コウイカ、よく調べてみると、少なくとも3〜4種類はありそうです。暖流系の生き物が、思ったよりもたくさん、北まで流れてきているらしいことが分かってきました。

(志賀健司)

## 資料館テーマ展

「アオイガイ／カイダコ」

9月より開催!(18ページ参照)



アオイガイ(カイダコ)。これも貝殻を持つタコ。

■文化財課・いしかり砂丘の風資料館

☎62-3711

✉bunkazaih@city.ishikari.hokkaido.jp